



ねいの里写真コンテスト 作品募集中

新企画として写真コンテストを実施します。ねいの里、野鳥の園いずれかで撮影した自慢の写真を応募してください。

応募作品は、ねいの里展示館内に展示し、来館者が人気投票をします。

詳しくは、ねいの里HPを見てね。賞品もあるよ。

《概略》

応募期間；2023/08/24(木)～2023/10/31(火)

投票期間；2023/11/01(水)～2024/01/08(月)

(来館者として投票に来てください)

結果発表；2024/01/10

表彰式；2024/02/10(ジビイベントにご招待)

入賞作品展示；2024/01/11～2024/03/31



ナチュラリスト養成講座 in ねいの里



今年も恒例のナチュラリスト養成講座が開催されました。

ねいの里でも講習会があり、7/8(土)に受講生 65 名と事務局 4 名が来園され、ほぼ一日の講義となりました。

先輩ナチュラリストが講師となって、解説時の会話のきっかけ作りや単純に生き物の名前を伝えるだけではないことを館内とフィールドで実演しました。

午前の座談会では、講師の心配をよそに皆さん積極的に声を上げら

れ、活発に議論を交わしました。また、午後のワークショップでは、決められたテーマで解説の演習をするなど実践的な内容で行われたため、受講生の皆さんは、座学と一味違う講義に熱心に取り組んでいました。

新たなナチュラリストとして活躍を期待したいですネ。



ホウホウクイズ；今(10/1 現在)、展示館には何匹のカメが飼育されているのう？

水辺の生態園が被災

7/18 夜半の豪雨は、ねいの里の水辺の生態園にも被害をもたらしました。オオガハスの池の横の土手が崩れて水路を塞ぎ、池に大量の土砂を流し入れたのです。いつ頃復旧できるか未確定です。

今回は大事に至らずホッと胸をなでおろしましたが、今後このようなことがないことを祈りたいものです。



自然塾の会 「遠出して散策 in 笹ヶ峰」

7/2(日) 自然塾の会会員で、新潟県の笹ヶ峰高原夢見平を散策してきました。



雨予報が一転、好天となり絶好の散策日和でした。遊歩道は、途中めかみが多く歩きにくかったのですが、わずかに残るクリンソウやショウキランに出会うことができました。

今年の花は、何もかも早咲きで、普段見ることのできる花が少なく「森林浴だったね」との意見も・・・

この後、いもり池に足を延ばし散策。池周辺が整備され立派な観光地となっていました。

外来生物の話③ セイタカアワダチソウ

○セイタカアワダチソウとは

北アメリカ大陸中北部を原産とするキク科の大型多年草です。明治時代に観賞用として導入され、蜂蜜を採取する蜜源植物として栽培されるなどしたものが野生化し、日本各地に群生するようになりました。セイタカアワダチソウという名前のアワダチは「泡立ち」で、多数集まった花の様子(写真①)が酒造りの際に生じる泡のように見えることから(諸説あり)。

他のキクの仲間と同じ秋(10~11月)に開花し、花の後にできる果実(写真②)は「冠毛」と呼ばれる毛があり、風によって多少飛ばされます。



写真①; 泡のような花

○セイタカアワダチソウの活用と生態

原産地では最も遅く開花する貴重な蜜源植物です。若芽は天婦羅で食べられるとされるが、アクが強く日本では食べることはありません。しかし、栄養価が高いので耕作放棄地に牛を放牧してこれを食べさせるという試みもあるようです。

草丈は2~3mに達し、鳥たちの格好の隠れ家(写真③)にもなっているようです。秋の終わりに根茎が伸びその先端に生じた新たな芽が地表に葉を広げた状態(写真④)で越冬します。

他の植物の生育を阻害する性質(アレロパシー)を持つことや、花粉症の原因となるブタクサに誤認されたことから拡大防止のため駆除の対象となりました。幸い、アレロパシー効果は、自分自身にも及ぶことや天敵(ゲンバイ、アブラムシ)の出現とともに拡大の勢いは弱まりつつあります。

また、花粉は虫によって運ばれるため、花粉症の原因にならないといわれています。ちょっとは安心かな・・・



写真②; 冠毛



写真③; 鳥の隠れ家?



写真④; ロゼッタ状新芽

● (7/30) **ねいの里の昆虫を調べよう**



小学校高学年を対象として、夏休みの自由研究にもなる昆虫の調べ方講座を開催しました。

熱心な子供たちは辞典やスマホを駆使しながら名称や生態を調べていました。同時に、野帳の使い方もレクチャーしたので、昆虫豆博士の卵たちが成長し、将来ねいの里で活躍するであろうことを期待したいですネ。

● (8/13) **ちびっ子自然体験**

今回は、カブトムシ捕獲用に仕掛けた罠をチェックしたり、森の中を散策した後、水辺で生き物採取をしました。

カブトムシは罠にかからず、カミキリムシとカナブンがかかりました。水辺では、猛暑のため時間を短縮しましたがトンボやバッタなどたくさんの虫を捕獲できました。

最後の虫の説明では、子供だけでなく大人も興味深そうに聞き入っていました。



● (8/20) **トンボ調査と標本作り**



作った標本を持ち帰ることができる超大人気行事を今年も開催しました！

最初に水辺のビオトープにて、オニヤンマやシオカラトンボ、キイトンボなど、色々なトンボを標本用に採集！

展示館に戻った後は、自分で捕まえたトンボを使っていよいよ標本作り！細かい作業に悪戦苦闘しながらも、完成したときはとても嬉しそうでした！

● (9/16) **星空観察会と虫の声を聞こう**



初の企画でしたが、47名の参加で賑わいのある星空観察となりました。心配していた空模様は、開始と同時に晴れ間がのぞき、夏の大三角や土星の輪がはっきり見えて、皆喜んでいました。珍しい二重星やガス星雲も見えました。



● (10/1) **キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ** (共催;自然塾の会)

夜の雨が上がり木々が濡れているものの、きのこ狩りには恵まれた環境となりました。参加者たちは思い思いにフィールド内を歩き、様々なキノコを採取しながら自然を楽しんでいました。

今年は、暑さの後の雨の影響なのか、たくさんのキノコが採取でき、鑑定がテンテコマイとなりました。

鑑定の後は、お楽しみキノコ鍋 ⇒ 子供たちの顔も自然と笑顔に・・・

お手伝い頂いた皆さん、
ありがとうございました。



キノコの鑑定中

ねいの里 これからの行事案内

● 10月15日(日) 森で遊ぼう in ねいの里 (自然塾卒あり)

時間: 10:00~12:30

場所: ねいの里

対象者: 未就学児

参加費: 無料

定員: 30名(保護者含む)

木の実拾い、ゲームや焚火、マシュマロ焼きなどを行い、自然に親しみます。森のこども園の協力で、ちびっ子を楽しませます。

● 11月3日(日) 雑木林探検

時間: 9:00~12:30

場所: ねいの里

対象者: 小、中学生

参加費: 無料

定員: 30名(保護者別)

樹木の伐採見学、枝切り体験、木登り体験などで森の管理の大切さや森の楽しみ方を学びます。伐採した薪で焚火を楽しもう!

● 11月12日(日) ちびっ子自然体験④ (自然塾卒あり)

時間: 10:00~12:00

場所: ねいの里

対象者: 未就学児、小学校低学年

定員: 30名

参加費: 無料

冬ごもり準備をしている生き物を探そう

● 12月10日(日) ミツロウシートでキャンドル作り (共催; 自然塾の会)

時間: 午前の部 10:00~12:00

午後の部 13:30~15:30

場所: ねいの里

対象者: 未就学児、小学生と保護者

定員: 各回 10名(保護者込み)

参加費: 500円/人

養蜂で使うミツロウシートでキャンドルを作ります。ハチの話もあります。

● 2024年1月5~6日(金、土) 春の七草頒布と正月遊び (共催; 自然塾の会)

時間: 各日 9:00~17:00

場所: ねいの里

対象者: 一般(要予約)

定員: 先着 50セット

値段: 1セット 300円(1人1セット限り)

今年も七草頒布をしますが、何パック準備できるか。乞う、ご期待!

***** <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい> *****
受付期間は、行事实施日の1ヵ月前から1週間です。

自然塾の会からのお知らせ

行事参加を希望する場合は、メール配信しますので、その都度確認してください。

独自行事案内; 12月3日(日) クリスマスリース作り 9:30~12:00

■ 特別展示

09/15~10/30 ねいの里キノコ写真展

11/03~12/18 いきもの「大きな」写真展

12/15~01/15 春の七草実物展

11/01~01/08 ねいの里写真コンテスト人気投票

12/22~01/28 富山県ナチュラリスト協会写真展

○ 「ねいの里自然塾の会」会員のナチュラリスト駐車場利用について

会員の方は、駐車許可証が必要となります。許可証は会員証とともにお届けしますので、

利用時は車内の
見えるところに
おいてくださ
い。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 荒屋 健治

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel; 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>



ホウホウクイズの解答: 6匹じゃ。(10/1現在の内訳: イシガメ2、クサガメ2、ウンキュウ1、アカミミガメ1)